

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 子どもの広場 桑名 放課後等デイサービス | | | | 公表日 | 2026年2月26日 |
|---------|----------------------|---|-----|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 3 | | 設備基準上の面積は十分に満たしているが支援内容や職員配置の状況により、一時的に特定エリアの密度が高まる場面もある。児童の安全確保と快適な活動スペースの維持を優先し、動線配慮や環境構成の工夫を継続したい。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 3 | 6 | 異食や他害等のリスクがある児童に対しては、安全確保のためマンツーマンに近い形で職員を配置し事故防止を最優先としている。 | 重点的にケアが必要な児童がいる一方で他の児童への手厚い個別支援が十分に行き届いていない場面があることも課題として認識している。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | 写真などでどこに何があるのか分かりやすくしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 9 | 0 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 1 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 1 | 日々の朝礼やミーティングを、単なる連絡事項の伝達に留めず、現場での気づきを共有する場として活用している。PDCAサイクルにおける「評価」や「改善」のプロセスにおいて、職員がその都度意見を出し合い、柔軟に支援方針へ反映できる体制を整えている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | 2 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 0 | 研修の案内や実施については、朝礼での周知に加えてLINE WORKSで情報を配信し、全職員がいつでも内容を確認・共有できる環境を整えている。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 9 | 0 | お子様や保護者様のニーズを正確に把握するため、定期的なアセスメントを実施している。分析した内容は朝礼等で共有し、現場職員の気づきや意見を反映させた計画を作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | 作成した放課後等デイサービス計画の内容は、日々の朝礼やミーティングを通じて全職員に周知し、支援方針の共有を徹底している。 | |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 1 | おめめ堂のツールやスケジュールボードを活用し、個々の特性に応じた支援と行動観察を行っている。ツールを通じたお子様との関わりから得られるアセスメント情報を朝礼等で都度共有し、適応行動の向上に向けた適切な環境設定と支援内容の検討を継続的に実施している。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | 1 | 日々の朝礼やミーティングの場を活用し、現場職員が気づいたお子様の興味・関心や反応を積極的に共有している。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | 1 | 日々の朝礼やミーティングで話し合い、現場職員がその都度出すアイデアや気づきを柔軟に反映させ、季節行事や新しい遊びを取り入れるなど、プログラムの更新に努めている。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | 1 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | 支援開始前の朝礼において、支援内容や職員の役割についてその都度周知・共有を行っている。LINE WORKSによる情報共有と対面での確認を組み合わせチームとして適切な支援を提供できる体制を確保している。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 2 | 終礼もしくは次営業日の朝礼にて、前日の支援内容や児童の様子、職員の関わり方について共有と振り返りを行っている。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | 支援記録を日々記録し、その内容を朝礼等で共有することで、支援の検証と改善に努めている。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。 | 9 | 0 | |
| 関係機関や保護者 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 9 | 0 | 職員体制の都合上、個別の自己選択に十分な時間を割くことが難しい場面もあるが、日々の関わりの中で「意思表示を尊重する」姿勢を大切にしている。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 0 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | 0 | 朝礼での周知に加え、LINE WORKS等を活用して全職員が常に確認できる状態で管理している。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 9 | 0 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 9 | 0 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 9 | 0 | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|--|--|
| 育 と の 連 携 | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | 3 | | |
| | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | 5 | 4 | 代表者が協議会へ継続的に出席し、地域連携に努めている。得られた情報は朝礼等で共有している。職員の関心も高まっており、今後も多くの職員が参画できる体制づくりを検討していく。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | 日々の対話を通じて、利用者の発達状況や課題についての情報共有を徹底している。聞き取った内容は朝礼等で職員全員に周知し、適切な支援の提供に取り組んでいる。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 9 | 0 | グループ内で「家族応援セミナー」を開催しており、保護者へ参加を呼びかけるとともに、関連する研修情報の提供を行っている。 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 7 | | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | 苦情対応体制を整備している。苦情や指摘を頂いた場合は、朝礼等で速やかに周知・共有を行い、原因の分析と支援内容の改善を迅速に実施し、サービスの質の向上と信頼回復に努めている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | Instagram等のSNSを活用し、日々の活動や行事予定の情報を発信している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 6 | | | |
| 非 常 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | 0 | BCPを策定し、それに基づいた避難・救出訓練を定期的に実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | 1 | | |

| | | | | | | |
|-----------------------|----|--|---|---|---|--|
| 時 等 の 対 応 | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 9 | 0 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | 職員の虐待防止意識を高めるため、定期的なアンケート実施による意識調査と、その結果に基づく研修や周知を朝礼等で実施している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 | 0 | | |